

福島原発事故をみつめ、若狭の原発を止めよう!

11・27 討論集会

集会の内容

第1部 福島市渡利の子どもたちを救おうー避難の権利確立に向けて
お話し 阪上武さん(フクロウの会代表)

第2部 大飯原発3号の運転再開を止めよう
ストレステスト批判とこれからの運動について

福島原発事故から8ヶ月が過ぎました。事故による放射能汚染の深刻な実態が明らかになってきています。福島市内の渡利(わたり)地区では、チェルノブイリ事故後の最も汚染された「特別規制ゾーン」に匹敵するほどの高い土壌汚染も確認されています。政府や福島県・福島市は「まず除染」と繰り返し、住民、とりわけ妊婦、子どもたちを避難させることを拒否しています。これに対して、地元でもそして全国からも怒りの声があがり、妊婦・子どもの避難を求める署名も取り組まれました。

いま、福島市渡利で何が起きているのか。地元の人達とともにこの問題に取り組んでおられる阪上武さんに話していただきます。

第2部は、全国に先駆けて運転再開が狙われている関電の大飯原発3号の運転再開を止めるために議論します。関電は10月28日にストレステスト結果を原子力安全・保安院に提出しました。しかし、ストレステストは福島事故の実態を反映していません。事故では津波の前に配管が破損した可能性が高まっていますが、これを考慮していません。さらに、活断層は相変わらず過小評価のまま等々。国は耐震バックチェックの見直しを始めましたが、ストレステストは事故前の耐震解析のままです。

関電の若狭の原発は定期検査によって年内に3基が停止し、来年2月には最後の1基(高浜3号)が停止します。関電は、全ての原発が停止する前に、大飯3号の運転再開を狙っています。

他方、原子力安全委員会は、防災対策を30km圏に拡大することを決め、滋賀県、京都府、兵庫県、岐阜県がこの範囲に入ります。滋賀県知事は住民の安全を守るため、安全協定の締結を求めています。

私たちはこの間、福井県など各県への申し入れ、おおい町・小浜市での戸別訪問などを行ってきました。福井県若狭町から石地優さんも参加されます。関西の水瓶である琵琶湖を放射能汚染から守るために、福井と関西が大きなネットワークとなって、運転再開を止めるために何が必要かを議論します。全国の運転再開反対の声と結びついて、新たな活動を広げていきましょう。ご参加ください。

■日時: 11月27日(日) PM1:30~4:45

■場所: 大阪社会福祉指導センター 研修室(3)
地下鉄「谷町6丁目」下車 4番出口 歩5分

■参加費: 一般800円 大学生以下500円
(被災された方は無料)

◆参加の予約をお願いします(80名の会場です)。

メールでの予約 <http://goo.gl/XbkK4>

FAXでの予約 075-702-1952 (グリーン・アクション)



主催: グリーン・アクション 京都市左京区田中関田町 22-75-103 TEL 075-701-7223

美浜の会

大阪市北区西天満 4-3-3 星光ビル 3階 TEL 06-6367-6580

協賛: 琵琶湖の水がみんなのいのち・さよなら原発ネットワーク (関西13団体)